

廿日市市大野地域景況調査報告書（2021年10月～2022年3月）

1. 旧廿日市市及び広島県内商工会地域における2021年10月～2022年3月のDI値（景気動向指標）

		製造業		建設業		卸・小売業		サービス業	
		前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し
売上	大野地域	▲33.3	33.3	66.7	▲33.3	▲100.0	▲100.0	▲33.3	66.7
	旧廿日市市	30.8	23.1	33.3	▲16.7	▲50.0	▲50.0	▲16.2	7.7
	県内商工会地域	▲8.1	▲9.5	▲19.6	▲32.6	▲40.2	▲27.5	▲39.8	▲29.5
仕入単価	大野地域	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	旧廿日市市	100.0	92.3	100.0	100.0	66.7	83.3	72.7	72.7
	県内商工会地域	65.9	71.4	68.1	60.0	48.2	55.1	34.1	29.0
採算	大野地域	0.0	▲33.3	66.7	▲33.3	▲100.0	▲100.0	▲33.3	66.7
	旧廿日市市	15.4	23.1	66.7	50.0	16.7	▲16.7	▲18.2	▲8.8
	県内商工会地域	▲33.4	▲18.6	▲28.7	▲28.3	▲48.6	▲36.3	▲37.0	▲34.4

上記DI値からみた大野地域、旧廿日市市及び広島県内の景気動向を見てみると、まず全体に言えるのが仕入単価の上昇である。すべての業種での仕入単価の上昇が見られており、この状況はしばらく続くと思われる。

次に業種別に景気動向を見ていくとまずは製造業であるが、売上は現状厳しいものの今後に向けては好転の期待もうかがえる。仕入単価の上昇は、サポーターの声にもあるように、このことが機会損失にもつながっており、採算等の先行き不透明感にもつながっていると思われる。旧廿日市市内は、好調さは見られるものの県内商工会地域においては現状及び今後ともに非常に厳しい状況が伺える。

建設業は年度末ということもあり、今期においては好調さが伺えるものの、その後は不透明であることが伺える。旧廿日市市内においては、現状そして今後においても好調さが伺えるものの、県内商工会地域については厳しい状況が伺える。

卸・小売業においては新型コロナ感染症の影響が大きく出てきており、大野地域だけでなく旧廿日市市内、県内商工会地域すべてが非常に厳しい状況であり、今後の見通しも暗いことが伺える。

飲食業、観光業などのサービス業においては、新型コロナ感染症の影響における、営業自粛等の影響を大きく受けていることが伺える一方で、まん延防止措置の解除後は期待値も含め売上、採算ともに好転が見込まれている。

3. 大野地域サポーターの声

上記の、旧廿日市市及び広島県内の商工会地域の景況を踏まえたうえで、大野地域サポーターの2021年10～2022年3月の景況感は下記の通りであった。

業種	サポーターの声
【製造業】	○材料不足により入荷までに半年から1年かかり、チャンスロスが発生している。 ○価格高騰で、ステンレスは1.5～2倍、鋼材は1.5倍になっている。 ○材料高騰により見積金額が合わないが、一方で、過剰在庫を抱えるわけにもいか

	ないので難しい。 ○住宅の建具を作っているが、一般住宅は好調である。 ○10～12月は好調だった。
【建設業】	○公共工事は好調で忙しいが、一方で民間は厳しい。 ○材料費は、10月に10%、年明けに10%と値上がりしている。 ○年度明けの売上見込みは不透明である。 ○材料不足により機会損失の発生がある。 ○人手不足は特に感じない。
【卸・小売業】	○すべてにおいて仕入れ値が上昇している。(1.2～1.5倍) ○大きな宴会・イベントがないために大きな売上は立たない。 ○消費者の財布のひもは固いと感じる。 ○海外からの輸入品は重油の上昇もあり価格上昇している。 ○キャッシュレスは根付いてきたと感じている。
【サービス業】	○イベントがないために、保険会計の収入は激減。 ○年末年始のイベントは軒並み中止であったが、4月以降イベント再開の動きがある。ショッピングセンターにゴールデンウイーク中におけるイベント実施の動きがある。 ○イベント実施の伴い人手不足が発生する可能性はある。 ○観光は12月までは好調であったが、まん延防止中は激減した。その反動か3月の3連休は県外の観光客も含めて人手が多く好調であった。

4. 全国商工会地域における2022年1～2月のDI値（景気動向指標）

～感染拡大による需要の低迷、原材料高など経営環境悪化に苦しむ小規模企業景況～

業種	産業全体			製造業			建設業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲28.6	▲34.5	▲5.9	▲20.9	▲29.4	▲8.5	▲18.5	▲22.4	▲3.9
採算	▲48.4	▲50.9	▲2.5	▲50.9	▲53.4	▲2.5	▲49.4	▲49.1	0.3
資金繰り	▲39.9	▲41.2	▲1.3	▲40.1	▲42.7	▲2.6	▲37.6	▲36.1	1.5
業況	▲42.4	▲44.6	▲2.2	▲38.5	▲44.9	▲6.4	▲39.3	▲35.1	4.2

業種	小売業			サービス業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲30.4	▲35.9	▲5.5	▲44.6	▲50.1	▲5.5
採算	▲44.0	▲48.9	▲4.9	▲49.4	▲52.0	▲2.6
資金繰り	▲36.9	▲40.4	▲3.5	▲45.1	▲45.5	▲0.4
業況	▲40.2	▲43.7	▲3.5	▲51.6	▲54.6	▲3.0

注) DI (景気動向指標) は各調査項目について、増加(好転) 企業割合から減少(悪化) 企業割合を差し引いた値を示す。

<製造業> …原材料高などの影響で、採算・価格転嫁に苦慮

<建設業> …公共事業で好調も、人手不足や設備等の入手難に苦しむ傾向

<小売業> …感染拡大による需要の低迷や商品の調達難により、悪化傾向に拍車がかかる

<サービス業> …感染拡大による需要の低迷に苦しむ